



榎ノ木

第拾七号

平成30年10月10日発行
青壮年部女性部広報
題字：大内翠峰

ダックツアー（水上両用バス）いざなりおもしろかったな！腹筋痛っ！？

反町中 小川 弘吉

平成30年4月14日（土）～16日（月）に開催された「京都 大本山妙心寺 団体参拝旅行」に参加しました。

今回「春爛漫 一生に一度は見たい！ 御室桜・一目千本吉野桜・都をどり」を楽しみに、高橋 寛副総代長を団長に総勢30名で二泊三日の団体参拝に朝6時過ぎ、禪興寺を出発しました。

最初に京都宇治の黄檗宗大本山萬福寺では「普茶料理」を頂きました。日本の山野に生まれた自然の産物を調理しながら中国文化の香りがした料理でした。

次に「都をどり in 春秋座」では明治5年以来続く舞妓さんの晴れ舞台！！で京舞井上流の伝統に裏付けされた確かな伎芸が生み出す華麗な舞が見事でした。

夕食は、妙心寺御用達・「阿じろ」にて精進料理を頂いた後に、夜の祇園オプショナルツアーで舞妓さんと記念撮影でき、満足の一日でした。

二日目は、朝6時より妙心寺で祝聖（法堂）開山堂拝観、境内散策の後、新緑と溪谷の嵯峨野トロッコ列車で変化に富んだ沿線風景でした。

大本山妙心寺での団体参拝は厳かな雰囲気の中で行われ、大切な方の供養になりました。

三日目は、朝7時より奈良吉野山の一目千本桜を堪能するため奥千本へ。今年は予想以上に早く散つてしまに残念！しかし、奇跡的に残った1本桜と眺望を見ることができ、大変有意義な吉野山でした。

その後大阪に移動しての「ダックツアー」水陸両用バスでは、個性豊かな大阪弁ガイドさんと一緒に60分のドライブと、そのまま淀川水上30分クルージングでした。大阪造幣局などの名所を面白おかしく説明するガイドで笑いの絶えない時間を過ごすことが出来ました。

遅めの昼食はマコモ（スペイン料理レストラン）でわいわいビュッフェランチパーティ！！豪華なスペイン料理とお酒がおいしく大満足で、帰路に着くことができました。

満開の桜が、鮮やかな新緑に変わりましたが、夢広がる旅で、有意義な時間を過ごすことができ、大満足な3日間でした。

最後に高橋団長、ご住職、参加者の皆さん、そして添乗員穀田さん、大変お世話様でした。



中国様式を色濃く残す、京都府宇治市黄檗宗大本山萬福寺にて



嵐山溪谷トロッコ列車に揺られて



舞妓さん綺麗だった～！うちらもどうぞ？



鐘の大きさに唖然!?



萬福寺に咲き誇る八重の普賢象桜！

微笑み満開

春の京都

団体参拝

清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



吉田のパリーピーポー集合！



右手はウチの実家の大阪城やでえ～



気分はもはやスペイン人？

大阪満腹!?



これがホンマの親子水入らず!?



笑顔一杯&腹一杯！左奥は住職のいとこ・オーナーシェフあー君



あっという間に平らげました。

子育て水子地藏祭り 花祭り・降誕会

本年も、5月19日、子育て水子地藏祭・花祭り（お釈迦様の誕生祭）を開催しました。朝は雨が降って心配しておりましたが、法要が始まるころには、曇り空になり、晴れてまいりました。

子育て水子地藏法要に続き、御詠歌奉詠の澄んだ歌声が響き、東日本震災犠牲者菩提供養も行われました。

その後、大本山妙心寺派定期巡教師・福岡県修林庵住職、清水圓俊師より



生きることへの感慨を深めた1日でした。

『おかげさまの心・いつでもどこでも仏さま・随処すいしよに主しゆ』と作なる』の演題で、師の修行中のお話をされました。「生きることの大切さ、寝ること、食べることのありがたさ、一日一度は、呼吸を調え、どんな境遇にあっても、自分の苦しみを境遇のせいにならず、今、自分がいる場所でしかできないものを見つけることが主となることなのです。」と説かれました。

その後はお弁当と紅白餅をいただきながら楽しく歓談いたしました。

生かされて今あるいのちのありがたさに感謝し、手を合わせ続けたいと思います。



伊藤前総代へ感謝状贈呈

寄稿

研修部・写経会

樹木葬会員 遠藤 眞理子

猛暑が続く7月15日・写経・坐禅会に参加しました。

春に身内を不慮の事故で無くし、気持ちの整理がつかずつらい日が続き、上を向けるきっかけが欲しかった頃でした。

初めての参加で緊張しながら開始を待つ中、周りの皆さんは和やかに談笑していました。

ふと外を見ると、山門から水色の作務衣の人影が、両手に大きな買い物袋を提げて颯爽と入ってきました。



何気なく目で追うと、なんとそれは、住職自らが飲み物菓子を買出し、という意表をつく登場。

本堂から見える新緑と夏の青空が、まるで額縁の絵画のようで衝撃でした。

坐禅会では合掌、姿勢、呼吸などの基本を教わりました。写経はひたすら一本一本の線を丁寧に引くことだけに意識を集中しました。シーンと静まり返る本堂。気づけばあっという間に一時間が過ぎ、住職からぼんと三宝印を戴き、何とも言えない達成感を味わいました。

菓子とアイスをごちそうになり夕方ぶりの心穏やかな時間を過ごしました。



暑い中での写経後に食べたアイスが格別でした！

盂蘭盆施餓鬼会・新亡供養



1



3



2



4

- 1 威風堂々たる莊嚴（しょうごん）と和尚様方
- 2 お経を唱えて本堂内を廻る行道（ぎょうどう）
- 3 維那（いのう）の朗々たる声が響き渡ります。
- 4 本堂内を埋め尽くす参列者！

7月15日写経会の日、福岡県八女市の栽培農家法人「茶の実庵」ご家族の皆さんが禪興寺を訪れました。

東日本大震災時に美味しい八女茶を「津波の被災者に飲んでもらいたい」と復興支援として禪興寺を通じ、毎年贈ってくださっていました。

皆さんは、甚大な被害のあった岩手県陸前高田市のお寺を訪問されてから、現在も交流の続く禪興寺を訪れたそうです。

東日本大震災復興支援に感謝！ 福岡県八女市 茶の実庵ご家族が来山！



福岡県から遥々いらっしゃいました。

今年の夏は暑い。
そんな声がよく聞かれた8月11日今年も、盂蘭盆施餓鬼会・新亡供養が開催されました。
新亡遺族の方々をはじめとして寺総代、青壮年部・女性部、樹木葬会員の皆さんとて本堂に入りきれない程の参拝者が集まりました。
心地よい打板の合図で和尚様方が入堂され、残暑厳しい一日に法要が厳粛に営まれました。

平成30年度 宮城福島教区花園会青壮年部総会

反町中 小川 弘吉

8月25日(土)午後4時より、多賀城市のホテルキャスルプラザ多賀城に於いて、妙心寺派寺院檀信徒の青壮年部会員出席で平成30年の総会が開催されました。

初めに教区花園会会頭 工藤速雄師より挨拶があり、続いて

教区花園会青壮年部会長 鈴木那彦より一年間の活動報告を兼ねた挨拶がありました。

その後、不磷寺の江口さんが議長に選出され、事務局より事業報告・会計報告、監事より監査報告があり、全ての議案が満場一致で原案のとおり承認されました。

その後、臨済宗妙心寺派布教師兵庫県鶏足寺住職 平出全价師を講師に迎え

「おかげさまの心・いつでもどこでも仏さま・随処(ずいしよ)に主(しゆ)と作(な)なる」の演題で講演会が行われました。

出席者からは質問が相次ぎ、大きな関心が高まり有意義な総会でした。

山門茅葺の葺き替え工事完了

当山山門茅葺(かやぶき)の十六年振りの葺き替え工事が、六月末に完成しました。工事以前は茅葺が苔むし、全体に下がり、一部をカラスが悪戯して劣化がすすんでおりました。

今回見違えるように面目一新され、日本古来の伝統文化の威風が感じられます。茅葺職人の小林功さんには、誠心誠意丹精込めた丁寧な仕事をして頂き、心より感謝申し上げます。



今後の行事予定

◎11月24日(土)

女性部研修旅行

女川方面復興支援研修

◎12月8日(土)

大般若祈禱・成道会

先住大雄和尚三回忌宿忌

◎12月15日(土)

青壮年部・女性部忘年会

◎2月16日(土)

涅槃会

編集後記

9月4日から近畿地方他に猛威を振るった台風21号は大きな爪痕を残しました。被害に遭われた方々に心からお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

京都花園の大本山妙心寺の重要な建造物にもかなりの被害を受けた様子に心を痛めております。

去る6月24日に国宝松島瑞巖寺平成大修理の落慶法要が営まれました。瑞巖寺一〇二世・吉田出身の大領義猷和尚様就任以来三百三十年と禪興寺開創以来七百五十余年の悠久の年月に思いを馳せております。



あづいなやあ

広報部

部長 小川弘吉

副部長 相澤敏晴

部員 佐藤 彰 早坂妙子

浅野澄江

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部

〒九八一・三六二五

宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三